

## 地域づくり活動 NPO 事業助成（先導的・先駆的）事業 実績報告

団体名	特定非営利活動法人 さんぴいす	代表者名	理事長 河口 紅
事業名	コロナ禍から考えるレジリエンス向上のためのプログラム開発事業		

### <事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
2021年8月25日(水)	第1回実行委員会開催 参加者3名(欠席2名) 事業の全体像の説明、非認知能力に関する意見交換、ブレインストーミング
9月15日(水)	第2回実行委員会開催 参加者3名(欠席2名) レジリエンスに関する情報収集、意見交換、ブレインストーミング
29日(水)	第3回実行委員会開催 参加者3名(欠席2名) アンケートの質問作成、意見交換、ブレインストーミング
10月27日(水)	第4回実行委員会開催 参加者3名(欠席2名) アンケートの質問作成、意見交換、ブレインストーミング
2022年 2月 7日(月)	第5回実行委員会開催 参加者3名(欠席2名) アンケート調査の分析方法について、インタビューについて、意見交換
2月16日(水)	第6回実行委員会開催 参加者2名(欠席3名) アンケート調査の分析結果について、意見交換
3月18日(金)	第7回実行委員会開催 参加者3名(欠席2名) 報告書について、来年度について、意見交換
1月10日(月) ~1月31日(月)	レジリエンス指標チェックアンケート調査期間 <a href="https://forms.gle/17DDnsstR5akoSy96">https://forms.gle/17DDnsstR5akoSy96</a>
2月	アンケート結果の分析
2月7.8.16.18日	・パーソナルインタビューを5名に行った。 ・グループディスカッション(参加者5名)を行った。 ※いずれもオンラインで実施した。
3月18日(金)	「レジリエンスについて考える」~アンケートの集計結果から~報告会開催 参加者:9名 オンラインで実施した。
3月	報告書作成 ①コロナ禍におけるライフスタイルとレジリエンスインタビュー報告書 ②レジリエンス指標チェックアンケート調査報告書

<効果と成果>

コロナ禍によりストレスを抱え、すべての世代が孤立感や精神的な不安を解消できない状況にある中、地域のNPOや自治会が連携し、地域住民が感じている不安の調査を行い、ストレスなどから回復できる力（レジリエンス力）を手軽に測定できるプログラムを開発したいと考えています。2021年度はそのプログラムを具体化するためにレジリエンス指標チェックアンケートという定量調査とグループディスカッションやパーソナルインタビューという定性調査の2種類の調査活動を行いました。定性調査では企業や組織に属していないコミュニティの中で生きている人と組織に属している人とでは、今抱えている不安や不満がほんの少し違うということに気づくなど、まさに地域の中で活動を続けているNPOだからこそその成果をあげることができました。2022年度は、この得られた成果をもとにレジリエンスを測定できるチェックシートやレジリエンス向上のセミナーなどに具体化する取り組みを予定しています。「誰一人見過ごされない」地域づくりの一助となるよう取り組みます。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	400,000
自己資金	217,149
合計	617,149

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経 費	人件費	357,000	300,000
	謝金	80,000	50,000
	その他（書籍購入費等）	3,700	3,700
	小 計	440,700	353,700
	間接経費（一般管理費）	176,449	46,300
	合 計	617,149	400,000